

横川晴児 / クラリネット & プロデュース

Seiji Yokokawa

'68年に渡仏、ルーアン音楽院、パリ国立高等音楽院をともにプルミエ・プリを得て卒業後、フランス国内で演奏活動を行う。帰国後東京フィルハーモニー交響楽団を経て'86年にNHK交響楽団首席奏者に就任。

ソリストとしても、N響定期公演はじめ国内外のオーケストラとたびたび共演。室内楽でも、国内外において多数の著名なソリストたちと共演。'01年にはブラームスのクラリネットソナタ集をリリース、「レコード芸術」誌では特選に選ばれた。'02年からは軽井沢国際音楽祭で音楽監督を務めている。

'09年NHK交響楽団より長年の功績に対して贈られる「有馬賞」を受賞。'10年2月同団を定年により退職。'12年ピアニスト野平一郎と「フレンチ・サマー」をリリース。また、トゥーロン国際コンクールをはじめ、世界の主要な国際コンクールで審査員を務める。また、国内外で後進の指導にあたるほか、近年は指揮者としても活動している。元国立音楽大学客員教授、トート音楽院学院長、ビュッフェ・クランポン社及びリコ・インターナショナル社専属テスター。(公財)習志野文化ホール評議員。



小林美恵 / ヴァイオリン

Mie Kobayashi

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学を首席で卒業。

'90年、ロン＝ティボー国際コンクールヴァイオリン部門で日本人として初めて優勝。以来、国内外で本格的な活動を開始する。

これまでに、NHK交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団等の国内の主要オーケストラ、ハンガリー国立交響楽団、プラハ交響楽団のソリストとして、充実した演奏を高く評価される。静岡のAOI・レジデンス・クワルテットのメンバーをはじめ、数多くの共演者と室内楽の分野においても活動を広げ、軽井沢国際音楽祭に毎年出演するなど音楽祭にも積極的に参加している。

フランス、イギリス、タイ、中国、韓国、ニュージーランド、パキスタン等でも公演を行い、洗練され、しかもダイナミックに奏でられる重厚な演奏は、多くの聴衆を魅了した。今後も日本を代表するヴァイオリニストとして、リサイタル、室内楽、オーケストラとの共演など全国各地で公演が予定されている。

オフィシャル・ホームページ <http://miekobayashi.com/>



©武藤 章 S

秋場 敬浩 / ピアノ

Takahiro Akiba

東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を首席で卒業。学内にてアリアドネ・ムジカ賞、安宅賞、アカンサス音楽賞、同声会賞受賞。その後、同大学院音楽研究科に進み、'15年に博士後期課程修了。博士号(音楽)取得。また、この間にロシア国立チャイコフスキー記念モスクワ音楽院に留学。'11年に同音楽院研究科修了。'13年、第2回コミタス国際音楽コンクール(ドイツ)で優勝。'15年、「アルメニア音楽芸術への貢献」に対し、アルメニア共和国政府ディアスポラ総務大臣より名誉表彰状を授与される。日本各地はもとより、ロシア、アルメニア、エストニアの主要都市でソロのみならず、声楽、室内楽、オーケストラとの共演等を行うほか、東京のオペラの森(東京・春・音楽祭)、エイヴェレ国際ピアノ音楽祭(エストニア)、コミタス国際音楽祭(アルメニア)などに出演し、リサイタルを行う。現在、東京藝術大学音楽学部ピアノ科講師。

